

日本初！バンカシュアランス向けの新しい保険を開発 7月20日、北都銀行にて新発売の“ガン保障付定期預金”の預金者に保障提供開始

カーディフ損害保険会社（以下カーディフ、所在地：東京都渋谷区、日本における代表者：青木淳）では、日本初となる、金融機関の預金額に保険金が連動する預金付帯のガン保険を開発し、7月20日より株式会社北都銀行（所在地：秋田県秋田市、取締役頭取：斉藤永吉）で販売される定期預金商品（商品名：ガン保障付定期預金）の預金者に保障の提供を開始しました。

銀行等の定期預金については、低金利が続く中、元本保証機能を含め安全性を重視して選好される傾向が一層強まっており、また預金を行う目的としては「病気への備え」や「老後の備え」が最も多くあげられる状況にあります。特に、日本人の死亡原因第1位であるガンについては、「死」や「再発」といったリスクよりも、負担が重くなる「治療費」に強く不安を感じています。

このように、安全かつ安心な資金を確保する手段としての預金に対するニーズが高まる中、定期預金の提供する安心機能をさらに強化する観点から、大事な預金を取り崩すことなく保障が得られるこの付帯保険の開発に至りました。

カーディフでは引き続き、当社の強みである金融機関の商品に相乗効果のある保険商品を合わせて提供するバンカシュアランスを推進していきます。

預金者の最大のメリット

- **預金者の資金が、お支払いする保険金と合わせて1.5倍に増えます**
保障開始以後に生まれて初めてガンに罹患し、診断確定後90日を超えて入院した場合（イメージ図参照）
- **保険料の負担はありません**（保険料の支払いは、全て銀行等金融機関の負担になります）
- **預金の申込みと同時に簡単な告知のみでガン保険に加入できます**



注：当商品は、預金を取り扱う銀行等の金融機関を保険契約者とし、ガン保障付定期預金の預金者を被保険者とする団体保険契約になります。

カーディフ・アシュアランス・リスク・ディヴェール（カーディフ損害保険会社）について

カーディフ・アシュアランス・リスク・ディヴェールは、ヨーロッパ有数の金融グループ、BNPパリバの保険事業部門である BNP パリバ・アシュアランスに属する会社です。日本においては、平成12年4月に日本支店を開業しました。主に銀行をパートナーとしてビジネスを行っており、平成22年6月30日現在、63の金融機関等（銀行49行、信用金庫1金庫、ノンバンク等13社）に商品を提供しています。また、保険財務力格付けは、AA（スタンダード・アンド・プアーズ）* という高い評価を維持しています。

*格付けは、平成22年1月25日現在のものであり、将来的に変化する可能性があります。また、この格付けは本社（フランス）で取得したものであり、日本における事業だけのものではありません。

本件に関するお問合せ先

カーディフ損害保険会社 お客さま相談室 TEL：03-6415-6051

受付時間 9:30～17:45（祝日、年末年始を除く月曜日～金曜日）